①事務事業名		担当 課係	内線	1136
事業コード	橋梁長寿命化修繕計画策定事業		建設課 建設土木係	
開始年度: 平成 22 年度 ⇒ 終了年度: 平成 25 年度				

②事務の位置づけ	事業の種類	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務		
	根拠法令	☐ あり () ☒ なし		
	分野別計画・指針	☒ あり (地域活力基盤創造計画) ☐ なし		
	総合計画の体系 (☒ あり ☐ なし)	5つの柱	1	自然と共生した住みよい安全なまちづくり
		まちづくりの目標	1	便利で美しいまち
基本方針		1	計画的な都市環境の整備	
施策区分		2	交通基盤	

③事業の概要・内容(Plan)

事業の概要	<p>今後老朽化する道路橋の増大に対応するため、橋梁の点検および長寿命化修繕計画を策定し、事後的修繕から予防的修繕へと転換し、橋梁の長寿命化と修繕・架け替え等に係る費用の縮減を図る。</p> <p>平成21年度・・・点検74橋 平成22年度・・・点検124橋 平成23年度・・・点検72橋及び計画策定 平成25年度・・・点検34橋及び計画策定(H25点検橋梁追加)</p>
-------	--

事業の内容	対象(誰を対象としているのか)	市民および道路橋利用者
	目的(何のために行うのか、具体的に)	今後老朽化する道路橋の増大に対応するため、長寿命化修繕計画を策定することにより、従来の事後的な修繕及び架け替えから予防的修繕及び計画的な架け替えへと転換を図るとともに、橋梁の長寿命化及び橋梁の修繕・架け替えに係る費用の縮減を図る。
	手段(どのような方法で実施するのか)	橋梁の点検を行い、点検結果を基に修繕及び架け替え等についての計画策定を行う。

④事務事業の実施状況・現状把握(Do)

活動指標	指標名等(説明・算定式)	単位	H21	H22	H23	H24	H25
			実績	実績	目標	目標	目標
	点検橋梁	橋	74	124	72	0	34

成果指標	指標名等(説明・算定式)	単位	H21	H22	H23	H24	H25
			実績	実績	目標	目標	目標
	点検完了橋梁	橋		124	72		34
	計画策定	計画			1		1
	指標化(数値化)できない成果						

事業費	事業費(単位:千円)	決算額		予算額	計画(概算見積もり)	
		H21	H22	H23	H24	H25
財源内訳	国・県支出金		7,271	9,350		2,585
	地方債					
	その他					
	一般財源		5,992	10,132		2,115
	事業費合計 (b)	0	13,263	19,482	0	4,700

⑤ 事務事業の評価 (Check)

必要性	公共性は	■高い □普通 □低い				
	住民ニーズは	■高い □普通 □低い				
	現時点でこの事業を取り巻く状況に該当するものは	□1 事業開始時と比較して社会経済状況が変化、または目的がすでに達成されたなど実施意識が低下している。				
		□2 ニーズと比較してサービスの供給が過剰となっている。				
		□3 国や他都市の水準と比較したとき、サービスの対象範囲や水準を見直す余地がある。				
		□4 国または県において、同種のサービス提供が行われている。				
□5 民間の活動を阻害、あるいは民間と競合している。						
		■6 上記に該当する項目はなく、市による事業は妥当である。				
有効性	上位施策に対する貢献度は	□1 政策・施策への貢献度が著しく高いとはいえない。				
		□2 政策・施策の目的を実現するためには、実施内容が必ずしも適切ではない。				
		□3 当該事業を現在の実施内容で継続しても、成果の向上が期待できない。				
		□4 類似・重複した事務事業が存在する。(事業名)				
		■5 上記に該当する項目はなく、上位施策への貢献度を認められる。				
目標に対する達成度は		□非常に高い	■高い	□低い	□非常に低い	
効率性	単位コストの状況は	□かなりよくなった	□よくなった	■変わらない	□悪くなった	□かなり悪くなった
	事業費や人件費削減の工夫は	□1 従事人員の見直しによりコストを下げる余地がある。				
		□2 事務改善(手順の見直し・作業の効率化・IT活用等)によりコストを下げる余地がある。				
		□3 契約内容の変更によりコストを下げる余地がある。				
		□4 他の実施主体の活用によりコストを下げる余地がある。				
		□5 その他見直し・変更によりコストを下げる余地がある。(受益者負担等)				
		選択しなかった根拠	■1 既に活用している。			
	□2 法的に行政職員が行うべき。					
	□3 市民サービスが低下する。					
	□4 他の実施主体が持つ専門知識、経営能力、技術力等を活用できない。					
□5 コスト削減が期待できない。						
		□6 公平性・公正性、守秘義務が保証されない。				

⑥ 事務事業の改善 (Action)

所属長所見	今後の方向性等(所属長所見・意見等)				
	点検結果を踏まえた長寿命化修繕計画を策定し、橋梁の予防的修繕及び計画的な架け替えをおこない、更なる橋梁の長寿命化及び修繕・架け替えに係る費用の縮減を図っていく。				
評価	<ul style="list-style-type: none"> 充実 現状維持 改善 縮小 廃止 	<p style="text-align: center;">充実</p>	意見等		
			速やかに全体把握を行い、重要性・緊急性により整備計画を立てること。所属長所見のとおり。		
		作成年月日	平成23年 6月30日	内部審査	平成23年10月7日